名張市週休2日制工事試行要領

令和7年11月

名張市

目 次

第1	編	土木	工事	編	(積算	基準	(下)	水道編	i) ì	商用	工事	含	む))						
1.	土日	完全	週休	2日	制工事	(発	注者排	旨定型	() 言	式行:	要領	į.								1
2.	【参	考】	土日	完全	週休2	日制	工事码	確認表											1	2
第2	編	土木	工事	編	(積算	基準	(水)	直施 設	整	備費	に係	る	歩	掛君	€)	適	用	工具	事)	
1.	土日	完全	週休	2日台	制工事	(発	注者	指定型	!) [式行	要領	Į.							1	3
2.	【参	考】	土日	完全	週休2	日制	工事码	確認表											2	4
第3	編	公共	建築	工事	編															
1.	土日	完全	週休	2日台	制工事	(発	注者排	旨定型	!) 言	式行	要領	į.							2	5
2.	【参	考】	土日	完全	週休2	日制	工事	確認表	ξ.										3	7
第4	編	農業	農村	整備.	工事編	Ā														
1.	土日	完全	週休	2日	制工事	(発	注者	旨定型	<u>!</u>)	式行	要領	į.							3	9
2.	【参	考】	土日	完全	週休2	日制	工事	確認表	ξ.										4	9
第5	編	森林	整備	保全.	工事編	Ā														
1.	土日	完全	週休	2日台	制工事	(発	注者排	旨定型	!) <u> </u>	式行	要領	į.							5	1
2.	【参	考】	土日	完全	週休2	日制	工事	確認表	ξ.										5	9

第1編 土木工事編(積算基準(下水道編)適用工事含む)

1. 土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。担い手確保には、建設現場における労働環境の改善 が必須であるため、週休2日(4週8休以上)の普及・定着に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(定義)

- 第2条 土日完全週休2日制工事(以下「週休2日」という。)とは、工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間^{*1}として、現場閉所^{*2}を原則、すべての土曜日と日曜日に行うものをいう。
 - 2 この要領において、週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週毎における現場閉所の達成状況が、1週間(月曜日から日曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。(別紙2)
 - 3 この要領において、月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。

なお、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%)に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている場合に、4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)を達成しているものとみなす。(別紙3の①)

- 4 この要領において、通期の週休2日とは、対象期間全体での現場閉所の達成状況が4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。
- ※1 対象期間の考え方について、以下の期間は対象期間から除く
 - ·準備期間
 - ・後片付け期間
 - ·夏季休暇(3日間)
 - · 年末年始休暇(6日間)
 - ・工場製作のみの期間
 - ・工事事故等による不稼働期間
 - ・天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間

・その他、受注者の責によらず休工を余儀なくされる期間

なお、週単位の週休2日の場合において、対象となる週が1週間(月曜日から日曜日)に満たない週、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った週は対象期間から除く。(別紙2の①、②)

また、月単位の週休2日の場合において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った日、暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。(別紙3の②、③)

※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所され た状態をいう。

(対象工事)

- 第3条 すべての工事の案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象 外とする。
 - ① 工事発注時において、工事の実働日数が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事
 - ア 災害復旧工事等、緊急性の高い工事
 - イ 社会的要請や現場条件の制約等により、現場閉所が困難として 次に掲げる工事
 - (ア)交通規制、施工可能時期(医療施設又は学校等、施設運営する上で現場閉所が困難)等の制約がある工事
 - (イ) 連続施工を必要とする工法を含む工事
 - ③ 市長が対象工事に適さないと判断する工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、「土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))」である旨を明示する。

(経費の計上)

- 第5条 当初設計における週休2日に関する経費は、月単位の週休2日を前提 とした補正係数(別紙1の②、④、⑤)を乗じたそれぞれの経費(労務費、 共通仮設費率、現場管理費率、市場単価、標準単価)を計上するものとす る。
 - 2 工事の精算にあたり、週単位の週休2日を達成できた場合、補正係数(別

紙1の①、④、⑤)に増額変更するものとする。

また、週単位の週休2日及び月単位の週休2日を達成できなかったものについては、補正係数を除き減額変更するものとする。

3 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含めるものとする。

なお、週休2日の算定においては実際の現場閉所日の週または月で現場 閉所日数を算定すること。

4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

附則 この要領は、令和6年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和7年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和7年5月20日から施行する。

附則 この要領は、令和7年11月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

① 週単位の週休2日

· 労務費: 1. 0 2· 共通仮設費率: 1. 0 2· 現場管理費率: 1. 0 3

② 月単位の週休2日(4週8休以上)

・労務費 : 1. 0 2・共通仮設費率 : 1. 0 1・現場管理費率 : 1. 0 2

③ 通期の週休2日 補正無し

④ 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正	係数
名称	区分	現場	閉所
		月単位	週単位
鉄筋工		1. 02	1. 02
ガス圧接工		1. 01	1. 01
インターロッキングブロックエ	設置	1. 01	1. 01
	撤去	1. 02	1, 02
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1. 02	1. 02
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(落石防護柵)		1. 01	1. 01
防護柵設置工(落石防止網)		1. 01	1. 01
道路標識設置工	設置	1. 00	1. 00
	撤去・移設	1. 01	1. 01
道路付属物設置工	設置	1. 01	1. 01
	撤去	1. 02	1. 02
法面工		1. 01	1. 01
吹付枠工		1. 01	1. 01
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1. 01	1. 01
道路植栽工		1. 02	1. 02
公園植栽工		1. 02	1. 02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1. 01	1. 01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1. 02	1. 02
橋面防水工		1. 01	1. 01
薄層カラー舗装工		1. 00	1. 00
グルーピングエ		1. 00	1. 00
軟弱地盤処理工		1. 01	1. 01
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)		1. 01	1. 01

(下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数)

		補正	係数		
名称	規格・仕様	現場閉所			
		月単位	週単位		
硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1. 01		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1. 01		
砂基礎工	人力施工	1. 02	1. 02		
砂基礎工	機械施工	1. 02	1. 02		
砕石基礎工	人力施工	1. 02	1. 02		
砕石基礎工	機械施工	1. 02	1. 02		
組立マンホール設置工		1. 01	1. 01		
小型マンホールエ		1. 00	1. 00		
取付管およびます設置工	ます設置工	1. 00	1. 00		
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1. 01	1. 01		

⑤ 土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正	係数		
名称	区分	現場閉所			
		月単位	週単位		
区画線工		1. 02	1. 02		
高視認性区画線工		1. 02	1. 02		
橋梁塗装工		1. 01	1. 01		
構造物とりこわし工	機械	1. 01	1. 01		
	人力	1. 02	1. 02		
コンクリートブロック積工		1. 02	1. 02		
排水構造物工		1. 02	1. 02		
鋼製排水溝設置工		1. 02	1. 02		
表面被覆工(コンクリート保護	固定足場	1. 01	1. 01		
塗装)	高所作業車	1. 01	1. 01		
表面含浸工	固定足場	1. 02	1. 02		
	高所作業車	1. 02	1. 02		

		補正	係数
名称	区分	現場	閉所
		月単位	週単位
連続繊維シート補強工	固定足場	1. 02	1. 02
	高所作業車	1. 02	1. 02
剥落防止工(アラミドメッシ	固定足場	1. 02	1. 02
٦)	高所作業車	1. 02	1. 02
漏水対策材設置工	固定足場	1. 02	1. 02
	高所作業車	1. 02	1. 02
防草シート設置工		1. 01	1. 01
紫外線硬化型 FRP シート設置工	固定足場	1. 01	1. 01
(ポリエルテル樹脂)	高所作業車	1. 01	1. 01
塗膜除去工		1. 02	1. 02
バキュームブラストエ		1. 01	1. 01
道路反射鏡設置工	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
仮設防護柵設置工(仮設ガード		1. 02	1. 02
レール)		1. 02	1. 02
機械式継手工		1. 02	1. 02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1. 01	1. 01
ノンコーキング式コンクリート		1. 01	1. 01
ひび割れ誘発目地設置工		1. 01	1. 01
FRP 製格子状パネル設置工		1. 00	1. 00
侵食防止用植生マット工(養生		1. 02	1. 02
マットエ)		1. 02	1. 02
支承金属溶射工		1. 02	1. 02
耐圧ポリエチレンリブ管(ハウ		1. 02	1. 02
エル管)設置工		1. 02	1. 02
フレア溶接工		1. 02	1. 02
H 型ボラード設置工		1. 01	1. 01
橋梁用水切り材設置工	固定足場	1. 02	1. 02
	作業車	1. 02	1. 02

【別紙2 週単位の週休2日の考え方】

週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週における現場閉所の達成状況が、1週間(月曜日から日曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。

週単位の週休2日の達成状況については、以下のとおり判断し、対象期間全 ての週毎の達成状況を確認したうえ、その達成状況に応じて、経費補正を評価 する。

① 準備期間や片付期間が含まれる場合

月	火	水	木	金	±	B
準備期間 (対象外)		対象期間			現場閉所	現場閉所

●週単位の達成状況 : この週は対象外(対象期間が1週間未満)

月	火	水	木	金	±	日
			対象期間		片付期間 (対象外)	

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(対象期間が1週間未満)
- ② 同一週内での指示による土日作業(緊急対応等)を行った場合

月	火	水	木	金	±	B
指示日					緊急対応	現場閉所

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(緊急対応のため)^{※1}
- ※1 週単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った週は、対象期間から除く。

③ 1週間以上前に判明した土日作業(現場見学等)を前後2週間以内の平日に振替えた場合

月	火	水	木	金	土	日		
	指示日		現場閉所			現場閉所	第A週	
						1818885	第B週	
				振替え		現場閉所		

第A週

●週単位の達成状況 :達成(1週間で2日の現場閉所)

第B週

●週単位の達成状況 : 未達成(1週間で1日の現場閉所)*2

※2 発注者の指示による土日作業は原則、現場閉所日を前後2週間以内の平日に振替えるものとするが、週をまたぐ振替えについては、振替えた先の週における現場閉所日として扱うものとする。

【別紙3 月単位の週休2日の考え方】

月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成 状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上) であることをいう。

なお、下記①の場合も4週8休以上達成とみなす。

① 暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。(A月、B月)

		AH (パター	/A)		
月	火	水	木	金	±	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・A月すべてが対象期間の場合

4週8休に満たないが、A月は8日以上の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

・B月22日から対象期間が始まる場合

4週8休に満たないが、B月は2日以上 の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

② 暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。 (C月)

C月 (パターンC)											
月	火	水	木	金	±	日					
1	2	3	4	5	6	7					
8	9	10	11	12	13	14					
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28					
29	30										

- · C月4日で対象期間が終わる場合
- · C月29日から対象期間が始まる場合



暦上の土日を含まないため、対象期間から除く

③ 同一週での指示による土日作業は対象期間から除く。

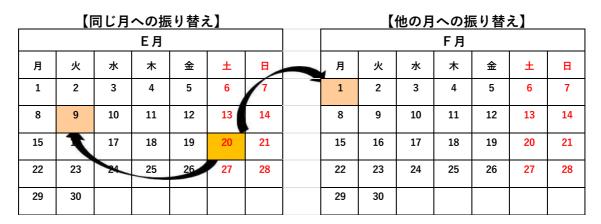
	D月(パターンD)											
月	火	水	木	金	±	Н						
1	2	3	4	5	6	7						
8	9	10	11	12	13	14						
15	16 指示日	17	18	19	20 緊急対応	21						
22	23	24	25	26	27	28						
29	30											

· D月 16 日の指示でD月 20 日に 緊急対応を行った場合



緊急対応の作業日を除いた土日 日数の現場閉所を行っていれば、 4週8休以上の達成とみなす

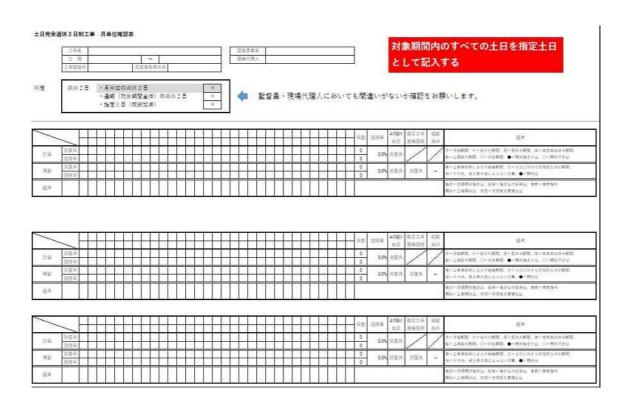
- ※ 月単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った 日は、対象期間から除く。
- ④ 土曜日・日曜日をやむを得ず振替える場合(E月、F月)



・E月の現場閉所日としてみなす

- ・F月の現場閉所日としてみなす (E月の現場閉所日としない)
- ※E月の4週8休以上の率算出時に注意

2. 【参考】土日完全週休2日制工事確認表



	対象	0週	達成	0週				10045	E = 1 + 1 +	W= / W= ++ T \	10 m / _ = 40 a 1 a 1
		YANG	ř ex			1900		-	暦日を入力	判定(経費補正)	判定(工事成績加点
	月	火	水	木	全	±	B	土曜	日曜	0	×
1週										76	
										对象外	×
	3		(n) 00	W				10 0 100		di-	Š.
2週]			
					9			1		対象外	×
			<u></u>		b) #			-			
3週	1	Y	F		S. S.			1			
					1					対象外	×
				L				_		7.2.4571	
4 週			_		7			1			
7 4 1/2			-					-		対象外	×
								1		对源水	
	_							Ti .			
55週								_		102200	
					8 8					対象外	×
	-	71	40		22			<u>-</u>			
66週											
					l l					対象外	×
		2	22	(1)	8 8	- 3		70. Pa		ž.	
9.7通								1			
				i i	i i			1		対象外	×

第2編 土木工事編(積算基準(水道施設整備費に係る歩掛表)適用工事)

1. 土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。担い手確保には、建設現場における労働環境の改善 が必須であるため、週休2日(4週8休以上)の普及・定着に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(定義)

- 第2条 土日完全週休2日制工事(以下「週休2日」という。)とは、工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間^{*1}として、現場閉所^{*2}を原則、すべての土曜日と日曜日に行うものをいう。
 - 2 この要領において、週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週毎における現場閉所の達成状況が、1週間(月曜日から日曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。(別紙2)
 - 3 この要領において、月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。

なお、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%)に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている場合に、4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)を達成しているものとみなす。(別紙3の①)

- 4 この要領において、通期の週休2日とは、対象期間全体での現場閉所の達成状況が4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。
- ※1 対象期間の考え方について、以下の期間は対象期間から除く
 - ·準備期間
 - ・後片付け期間
 - · 夏季休暇(3日間)
 - · 年末年始休暇(6日間)
 - ・工場製作のみの期間
 - ・工事事故等による不稼働期間
 - ・天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間

・その他、受注者の責によらず休工を余儀なくされる期間

なお、週単位の週休2日の場合において、対象となる週が1週間(月曜日から日曜日)に満たない週、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った週は対象期間から除く。(別紙2の①、②)

また、月単位の週休2日の場合において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った日、暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。(別紙3の②、③)

※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所され た状態をいう。

(対象工事)

- 第3条 すべての工事の案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象 外とする。
 - ① 工事発注時において、工事の実働日数が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事
 - ア 災害復旧工事等、緊急性の高い工事
 - イ 社会的要請や現場条件の制約等により、現場閉所が困難として 次に掲げる工事
 - (ア)交通規制、施工可能時期(医療施設又は学校等、施設運営する上で現場閉所が困難)等の制約がある工事
 - (イ) 連続施工を必要とする工法を含む工事
 - ③ 市長が対象工事に適さないと判断する工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、「土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))」である旨を明示する。

(経費の計上)

- 第5条 当初設計における週休2日に関する経費は、月単位の週休2日を前提 とした補正係数(別紙1の②、④、⑤)を乗じたそれぞれの経費(労務費、 共通仮設費率、現場管理費率、市場単価、標準単価)を計上するものとす る。
 - 2 工事の精算にあたり、週単位の週休2日を達成できた場合、補正係数(別

紙1の①、④、⑤)に増額変更するものとする。

また、週単位の週休2日及び月単位の週休2日を達成できなかったものについては、補正係数を除き減額変更するものとする。

3 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含めるものとする。

なお、週休2日の算定においては実際の現場閉所日の週または月で現場 閉所日数を算定すること。

4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

附則 この要領は、令和7年5月20日から施行する。 附則 この要領は、令和7年11月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

① 週単位の週休2日

· 労務費 : 1. 02 · 共通仮設費率 : 1. 02 ·現場管理費率 : 1. 03

② 月単位の週休2日(4週8休以上)

· 労務費 : 1. 02 · 共通仮設費率 : 1. 0 1 ·現場管理費率 : 1. 02

③ 通期の週休2日 補正無し

④ 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正	係数
名称	区分	現場	·····································
		月単位	週単位
鉄筋工		1. 02	1. 02
ガス圧接工		1. 01	1. 01
インターロッキングブロックエ	設置	1. 01	1. 01
	撤去	1. 02	1, 02
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1. 02	1. 02
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(落石防護柵)		1. 01	1. 01
防護柵設置工(落石防止網)		1. 01	1. 01
道路標識設置工	設置	1. 00	1. 00
	撤去・移設	1. 01	1. 01
道路付属物設置工	設置	1. 01	1. 01
	撤去	1. 02	1. 02
法面工		1. 01	1. 01
吹付枠工		1. 01	1. 01
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1. 01	1. 01
道路植栽工		1. 02	1. 02
公園植栽工		1. 02	1. 02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1. 01	1. 01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1. 02	1. 02
橋面防水工		1. 01	1. 01
薄層カラー舗装工		1. 00	1. 00
グルーピングエ		1. 00	1. 00
軟弱地盤処理工		1. 01	1. 01
コンクリート表面処理工(ウォータ ージェット工)		1. 01	1. 01

(下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数)

		補正	係数		
名称	規格・仕様	現場閉所			
		月単位	週単位		
硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1. 01		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1. 01	1. 01		
砂基礎工	人力施工	1. 02	1. 02		
砂基礎工	機械施工	1. 02	1. 02		
砕石基礎工	人力施工	1. 02	1. 02		
砕石基礎工	機械施工	1. 02	1. 02		
組立マンホール設置工		1. 01	1. 01		
小型マンホールエ		1. 00	1. 00		
取付管およびます設置工	ます設置工	1. 00	1. 00		
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工	1. 01	1. 01		

⑤ 土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正	係数		
名称	区分	現場閉所			
		月単位	週単位		
区画線工		1. 02	1. 02		
高視認性区画線工		1. 02	1. 02		
橋梁塗装工		1. 01	1. 01		
構造物とりこわし工	機械	1. 01	1. 01		
	人力	1. 02	1. 02		
コンクリートブロック積工		1. 02	1. 02		
排水構造物工		1. 02	1. 02		
鋼製排水溝設置工		1. 02	1. 02		
表面被覆工(コンクリート保護	固定足場	1. 01	1. 01		
塗装)	高所作業車	1. 01	1. 01		
表面含浸工	固定足場	1. 02	1. 02		
	高所作業車	1. 02	1. 02		

		補正	係数
名称	区分	現場	閉所
		月単位	週単位
連続繊維シート補強工	固定足場	1. 02	1. 02
	高所作業車	1. 02	1. 02
剥落防止工(アラミドメッシ	固定足場	1. 02	1. 02
ے)	高所作業車	1. 02	1. 02
漏水対策材設置工	固定足場	1. 02	1. 02
	高所作業車	1. 02	1. 02
防草シート設置工		1. 01	1. 01
紫外線硬化型 FRP シート設置工	固定足場	1. 01	1. 01
(ポリエルテル樹脂)	高所作業車	1. 01	1. 01
塗膜除去工		1. 02	1. 02
バキュームブラストエ		1. 01	1. 01
道路反射鏡設置工	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
仮設防護柵設置工(仮設ガード		1. 02	1. 02
レール)		1. 02	1. 02
機械式継手工		1. 02	1. 02
抵抗板付鋼製杭基礎工		1. 01	1. 01
ノンコ―キング式コンクリート		1. 01	1. 01
ひび割れ誘発目地設置工		1. 01	1. 01
FRP 製格子状パネル設置工		1. 00	1. 00
侵食防止用植生マット工(養生		1. 02	1. 02
マットエ)		1. 02	1. 02
支承金属溶射工		1. 02	1. 02
耐圧ポリエチレンリブ管(ハウ		1. 02	1. 02
エル管)設置工		1. 02	1. 02
フレア溶接工		1. 02	1. 02
H 型ボラード設置工		1. 01	1. 01
橋梁用水切り材設置工	固定足場	1. 02	1. 02
	作業車	1. 02	1. 02

【別紙2 週単位の週休2日の考え方】

週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週における現場閉所の達成状況が、1週間(月曜日から日曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。

週単位の週休2日の達成状況については、以下のとおり判断し、対象期間全 ての週毎の達成状況を確認したうえ、その達成状況に応じて、経費補正を評価 する。

① 準備期間や片付期間が含まれる場合

月	火	水	木	金	±	B
	帯期間 ・象外)	対象期間			現場閉所	現場閉所

●週単位の達成状況 : この週は対象外(対象期間が1週間未満)

月	火	水	木	金	±	日
			対象期間		片付期間 (対象外)	

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(対象期間が1週間未満)
- ② 同一週内での指示による土日作業(緊急対応等)を行った場合

月	火	水	木	金	±	B
指示日					緊急対応	現場閉所

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(緊急対応のため)^{※1}
- ※1 週単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った週は、対象期間から除く。

③ 1週間以上前に判明した土日作業(現場見学等)を前後2週間以内の平日に振替えた場合

月	火	水	木	金	土	日	
	指示日		現場閉所	f		現場閉所	第A週
						1818885	笠 D 油
				振替え		現場閉所	第B週

第A週

●週単位の達成状況 :達成(1週間で2日の現場閉所)

第B週

●週単位の達成状況 : 未達成(1週間で1日の現場閉所)*2

※2 発注者の指示による土日作業は原則、現場閉所日を前後2週間以内の平日に振替えるものとするが、週をまたぐ振替えについては、振替えた先の週における現場閉所日として扱うものとする。

【別紙3 月単位の週休2日の考え方】

月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。

なお、下記①の場合も4週8休以上達成とみなす。

① 暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。(A月、B月)

		****	パター	- 11/		
月	火	水	木	金	±	B
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・A月すべてが対象期間の場合

4週8休に満たないが、A月は8日以上の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

· B月22日から対象期間が始まる場合

4週8休に満たないが、B月は2日以上 の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

② 暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。 (C月)

C月(パターンC)									
月	火	水	木	金	±	日			
1	2	3	4	5	6	7			
8	9	10	11	12	13	14			
15	16	17	18	19	20	21			
22	23	24	25	26	27	28			
29	30								

- · C月4日で対象期間が終わる場合
- · C月29日から対象期間が始まる場合



暦上の土日を含まないため、対象期間か ら除く ③ 同一週での指示による土日作業は対象期間から除く。

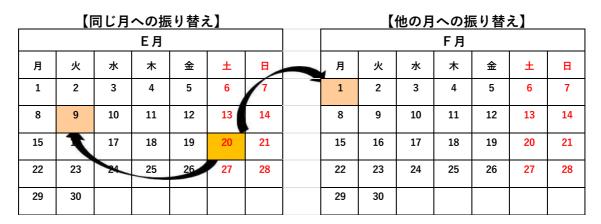
D月(パターンD)									
月	火	水	木	金	±	B			
1	2	3	4	5	6	7			
8	9	10	11	12	13	14			
15	16 指示日	17	18	19	20 緊急対応	21			
22	23	24	25	26	27	28			
29	30								

・D月 16 日の指示でD月 20 日に 緊急対応を行った場合



緊急対応の作業日を除いた土日 日数の現場閉所を行っていれば、 4週8休以上の達成とみなす

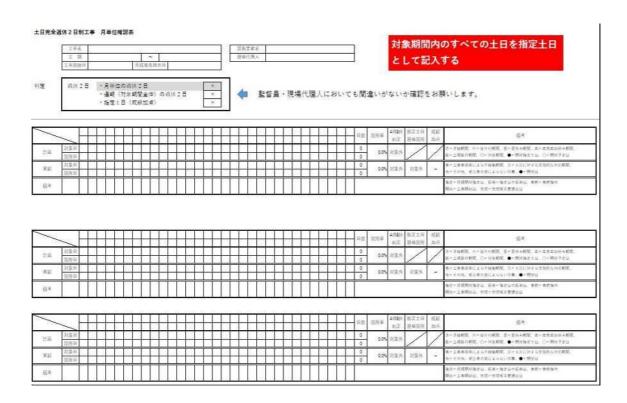
- ※ 月単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った 日は、対象期間から除く。
- ④ 土曜日・日曜日をやむを得ず振替える場合(E月、F月)



・E月の現場閉所日としてみなす

- ・F月の現場閉所日としてみなす (E月の現場閉所日としない)
- ※E月の4週8休以上の率算出時に注意

2. 【参考】土日完全週休2日制工事確認表



	対象	0週	達成	0週	22			10-15	- C + 1 -	(a) == / (a == 12 == 1	
								土日の振		判定(経費補正)	判定(工事成績加点
	月	火	水	木	全	±	B	土曜	日曜	0	×
1週											
						7				対象外	×
			in .					100k		ti.	•
2週								1			
			-					1		対象外	×
			<u> </u>		b) #			1			1
3週		Y	F		S. S.			7			
3.5								Ì		対象外	×
								4		72,000.21	
4 週			1		ř. – 2			7			
4.0	-		-					-		対象外	×
								1		X23827F	100
- m			T .				ì	ī			
5 通	_							-			
					8 8					対象外	×
1100-00-00		1	r				1	ä			
6週				l l				1			
										対象外	×
月7週								Ī			
								1		対象外	×

第3編 公共建築工事編

1. 土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。担い手確保には、建設現場における労働環境の改善 が必須であるため、週休2日(4週8休以上)の普及・定着に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(定義)

- 第2条 土日完全週休2日制工事(以下「週休2日」という。)とは、工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間*1として、現場閉所*2がすべての土曜日と日曜日となることを目指すものをいう。
 - 2 この要領において、週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週毎における現場閉所の達成状況が、1週間(土曜日から金曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。(別紙2)
 - 3 この要領において、月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。

なお、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%)に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている場合に、4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)を達成しているものとみなす。(別紙3の①)

- 4 この要領において、通期の週休2日とは、対象期間全体での現場閉所の達成状況が4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。
- ※1 対象期間の考え方について、以下の期間は対象期間から除く
 - ·準備期間
 - ・後片付け期間
 - · 夏季休暇(3日間)
 - · 年末年始休暇(6日間)
 - ・工場製作のみの期間
 - ・工事事故等による不稼働期間
 - ・天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間

・その他、受注者の責によらず休工を余儀なくされる期間

なお、週単位の週休2日の場合において、対象となる週が1週間(土曜日から金曜日)に満たない週、発注者の指示による土日作業(同一週(月曜日から日曜日)内での指示に限る)を行った週(土曜日から金曜日)は対象期間から除く。(別紙2の①、②)

また、月単位の週休2日の場合において、発注者の指示による土日作業(同一週(月曜日から日曜日)内での指示に限る)を行った日、暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。(別紙3の②、③)

※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所され た状態をいう。

なお、分離発注工事の場合は、各発注工事単位で現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態(現場休息)をもって、現場閉所の判断を行うものとする。

(対象工事)

- 第3条 すべての工事の案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。
 - ① 工事発注時において、工事の実働日数が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事
 - ア 災害復旧工事等、緊急性の高い工事
 - イ 社会的要請や現場条件の制約等により、現場閉所が困難として 次に掲げる工事
 - (ア)交通規制、施工可能時期(医療施設又は学校等、施設運営する上で現場閉所が困難)等の制約がある工事
 - (イ)連続施工を必要とする工法を含む工事現場閉所困難な工事
 - ③ 市長が対象工事に適さないと判断する工事

(発注方式)

- 第4条 発注者は、次の①または②のいずれかによる方式にて発注すること を基本とする。なお、一つの工事現場で複数の工事が分離発注される場合は、全ての工事について同一の方式を選択する。
 - ① 土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位)) 受注者が工事着手前に「週単位の週休2日」に取り組む旨を発注 者と協議したうえで取り組む方式(月単位の週休2日は必須)

② 土日完全週休2日制工事(発注者指定型(通期)) 受注者が工事着手前に「週単位の週休2日」又は「月単位の週休 2日」に取り組む旨を発注者と協議したうえで取り組む方式(通期 の週休2日は必須)

(入札公告等への明示)

第5条 発注者は、入札公告において、前条①の工事を公告する際は、「土日 完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))」である旨を、前条② の公告をする際は、「土日完全週休2日制工事(発注者指定型(通期))」 である旨を明示する。

(土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))における経費の計上) 第6条 土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))の当初積算にお ける週休2日に関する経費は、月単位の週休2日を前提とした補正係数 (別紙1の(1)②、(2))を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費 の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単 価)の労務費)を計上するものとする。

- 2 工事の精算にあたり、週単位の週休2日を達成した場合は、補正係数 (別紙1の(1)①、(2))に増額変更するものとする。 また、週単位の週休2日及び月単位の週休2日を達成できなかったも のについては、補正係数を除き減額変更するものとする。
- 3 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所 した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を 閉所した日数に含めるものとする。

なお、週または月単位の週休2日の算定においては実際に現場閉所した日を週または月単位で算定すること。

4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

(土日完全週休2日制工事(発注者指定型(通期))における経費の計上) 第7条 土日完全週休2日制工事(受注者希望型(通期))の当初積算におけ る週休2日に関する経費は、通期の週休2日の現場閉所を前提とした補 正係数を乗じない労務費を計上する。

- 2 工事の精算にあたり、週単位の週休2日を達成できた場合は、補正係数(別紙1の(1)①、(2))に増額変更するものとする。また、月単位の週休2日を達成できた場合は、補正係数(別紙1の(1)②、(2))に増額変更するものとする。
- 3 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所

した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉 所した日数に含めるものとする。

なお、週または月単位の週休2日の算定においては実際に現場閉所した日を週または月単位で算定すること。

4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること

附則 この要領は、令和6年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和7年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和7年5月20日から施行する。

附則 この要領は、令和7年11月1日から施行する。

【別紙1 積算方法等の運用(公共建築工事積算基準適用の場合)】

「試行要領」により工事費の積算に用いる単価の補正方法等は、以下による。

(1) 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事等設計単価表(三重県)の労務単価に以下の補正係数を乗じて補正する。

【①週単位の週休2日】

労務費 : 1. 02 現場管理費: 1. 01

【②月単位の週休2日(4週8休以上)】

労務費 : 1. 02

【③通期の週休2日(4週8休以上)】

補正無し

なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

(2)市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格 市場単価と補正市場単価は、(1)の補正係数から算出した以下の表A-2、 表E-2及び表M-2の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合(基準単価の算定)】

市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合(基準補正単価の算定)】

市場単価及び補正市場単価 × 改修補正率

(参考)

「基準単価」及び「基準補正単価」とは、公共建築工事積算基準等資料第4編第1章8(3)による。

執務並行改修の場合の基準補正単価は、公共建築工事積算基準等資料第4編第1章8(3)口.基準補正単価の表A-1、表E-1及び表M-1の「市場単価及び補正市場単価改修補正率」によらず、(1)の補正係数を用いて算出した以下の表A-2、表E-2及び表M-2の改修補正率を用いた上記の式により基準単価(または補正市場単価)を補正して算定すること。

物価資料の掲載価格(市場単価以外の材工単価)を採用する場合は、掲載価格を以下の表の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事、全館無人改修の場合】 物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【執務並行改修の場合】 物価資料の掲載価格 × 改修補正率

表A-2建築工事の補正率

		月単位の 及	
工種	摘 要 ※	週単位の	
		新営補正率	改修補正率
仮設工事	物価	1. 01	1. 01
土工事	市場、物価共通	1. 01	1. 01
地業工事	物価	1. 01	1. 01
鉄筋工事	市場、物価共通	1. 01	1. 01
コンクリート工事	市場、物価共通	1. 01	1. 01
型枠工事	市場、物価共通	1. 01	1. 01
鉄骨工事	物価	1. 02	1. 02
既製コンクリート	物価	1. 01	1. 01
防水工事	市場	1. 01	1. 08
防水工事(シーリング)	市場	1. 01	1. 14
防水工事	物価	1. 01	1. 01
石工事	物価	1. 01	1. 01
タイル工事	物価	1. 01	1. 01
木工事	物価	1. 01	1. 01
屋根及びとい	物価	1. 01	1. 01
金属工事	市場	1. 01	1. 09
金属工事	物価	1. 01	1. 01
左官工事(仕上塗材仕上)	市場	1. 01	1. 01
左官工事(仕上塗材仕上以外)	市場	1. 01	1. 16
左官工事	物価	1. 01	1. 01
建具(ガラス)	市場	1. 01	1. 10
建具(シーリング)	市場	1. 02	1. 16
建具	物価	1. 01	1. 01
塗装工事	市場	1. 01	1. 15
塗装工事	物価	1. 01	1. 01
内外装工事	市場	1. 01	1. 13
内外装工事(ビニル系床材)	市場	1. 01	1. 08
仮設工事	物価	1. 01	1.01
土工事	物価	1. 01	1.01
仕上げユニット	物価	1. 01	1.01
排水工事	物価	1. 01	1.01
舗装工事	物価	1. 01	1.01
植栽及び屋上緑化	物価	1. 01	1.01

^{※「}市場」:市場単価及び補正市場単価、「物価」:物価資料の掲載価格の補正率を示す。

表E一2電気設備工事の補正率

工種	摘要	月単位の週休2日 及び 週単位の週休2日		
		新営補正率	改修補正率	
	電線管、2 種金属線ぴ及び同ボックス	1. 01	1. 19	
	ケーフ゛ルラック	1. 01	1. 15	
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1. 01	1. 18	
	ጋ ° ル ホ * ックス	1. 01	1. 13	
配管工事	プルボックス用接地端子	1. 00	1.00	
	防火区画貫通処理 ケーブルラック用(壁・床)	1. 01	1. 14	
	防火区画貫通処理金属管・丸型用	1. 01	1. 05	
	(電動機その他接続材工事) 金属製可とう電線管	1. 01	1. 15	
配線工事	600V 絶縁電線及び600V 絶縁ケーブル	1. 01	1. 17	
接地工事	(接地極工事) 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票(金属製)	1. 01	1.01	

表M-2機械設備工事の補正率

工種	摘要	月単位の週休2日 及び 週単位の週休2日		
		新営補正率	改修補正率	
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1. 01	1. 15	
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧チャンバー類	1. 01	1. 15	
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、 ダンパー等の取付手間のみ	1. 02	1. 22	
衛生器具設備 (ユニットを除く)	取付手間のみ	1. 02	1. 22	

【別紙2 週単位の週休2日の考え方】

週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週における現場閉所の達成状況が、1週間(土曜日から金曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。 週単位の週休2日の達成状況については、以下のとおり判断し、対象期間全 ての週毎の達成状況を確認し、その達成状況に応じて経費補正を評価する。

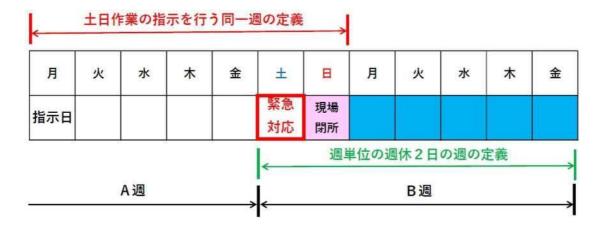
① 準備期間や片付期間が含まれる場合

土	B	月	火	水	木	金
	準備	期間	対象期間			
	(対象外)					

●週単位の達成状況 :この週は対象外(対象期間が1週間未満)

土	B	月	火	水	木	金	
18 18 88 20	18 18 88 元		対象期間	片付期間			
現場閉所	現場閉所		-	(対象外)			

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(対象期間が1週間未満)
 - ② 同一週(月曜日から日曜日)内での指示による土日作業(緊急対応等)を 行った場合



※ 指示を行う同一週の定義は「<u>月曜日~日曜日</u>」、 週単位の週休2日の達成を判断する週は、「<u>土曜日~金曜日</u>」となることに注意する。

(例) B週の土日作業の指示を行う同一週は、A週の月~金曜日及びB週の土・日曜日となる。

第B週

- ●週単位の達成状況 :対象外(緊急対応のため)※1
- ※1 週単位において、発注者の指示による土日作業(<u>同一週</u>(<u>月曜日</u> <u>から日曜日</u>)内での指示に限る)を行った<u>週</u>(<u>土曜日から金曜日</u>) は、対象期間から除く。
- ③ 1週間以上前に判明した土日作業(現場見学会等)を前後各2週間以内 の平日に振替えた場合

土	B	月	火	水	木	金	
現場閉所	現場閉所			指示日			第A週
	現場閉所		現場閉所				第B週
	現場閉所	振替え					第C週

第B週

●週単位の達成状況 :達成(1週間で2日の現場閉所)

第C週

●週単位の達成状況 :未達成(1週間で1日の現場閉所)※2

※2 発注者の指示による土日作業は原則、現場閉所日を前後各2週間 以内の平日に振替えるものとするが、週をまたぐ振替えについて は、振替えた先の週における現場閉所日として扱うものとする。

【別紙3 月単位の週休2日の考え方】

月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成 状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上) であることをいう。

なお、下記①の場合も4週8休以上達成とみなす。

① 暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。(A月、B月)

		АЯ (パター	ZA)		
月	火	水	木	金	±	B
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

・A月すべてが対象期間の場合

4週8休に満たないが、A月は8日以上の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

・B月22日から対象期間が始まる場合

4週8休に満たないが、B月は2日以上 の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

② 暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。 (C月)

22	8.80	1900	5-2X.	2020.5		7,000
月	火	水	木	金	±	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

- · C月4日で対象期間が終わる場合
- · C月29日から対象期間が始まる場合



暦上の土日を含まないため、対象期間から除く

③ 同一週での指示による土日作業は対象期間から除く。

		D月(パター	ンD)		
月	火	水	木	金	±	B
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 指示日	17	18	19	20 緊急対応	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

· D月 16 日の指示でD月 20 日に 緊急対応を行った場合



緊急対応の作業日を除いた土日 日数の現場閉所を行っていれば、 4週8休以上の達成とみなす

土日日数8日 ⇒ 土日日数7日 緊急対応除

- ※ 月単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った 日は、対象期間から除く。
- ④ 土曜日・日曜日をやむを得ず振替える場合(E月、F月)

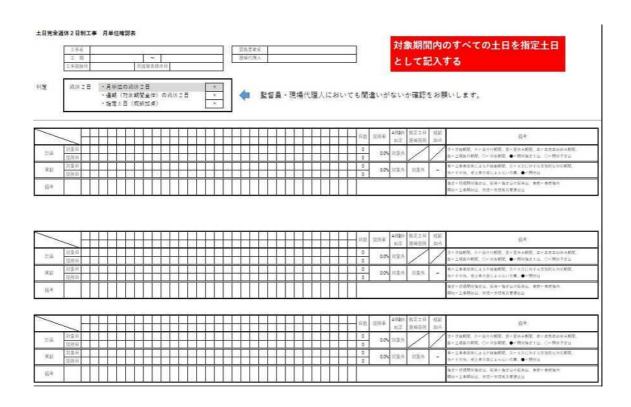


・E月の現場閉所日としてみなす

・F月の現場閉所日としてみなす (E月の現場閉所日としない)

※E月の4週8休以上の率算出時に注意

2. 【参考】土日完全週休2日制工事確認表



	対象	0週	達成	0週	62						
					34 04			土日の振	暦日を入力	判定(経費補正)	判定(工事成績加点
	月	火	水	木	金	±	日	土曜	日曜	0	×
51週											991
										对象外	×
	2		92	V.			4				
52週										y	*
										対象外	×
	58		M:	Y	C) 47			-			
63週			5							-	20
					.,.]		対象外	×
94週										P	
										対象外	×
育5週											
										対象外	×
			40		60 W			== ==			
66週								_			
										対象外	×
	-							···			
97週						,					87
										对象外	×

第4編 農業農村整備工事編

1. 土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな課題となっている。担い手確保には、建設現場における労働環境の改善が必須であるため、週休2日(4週8休以上)の普及・定着に向けて土日完全週休2日制工事を試行する。

(定義)

- 第2条 土日完全週休2日制工事(以下「週休2日」という。)とは、工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間^{*1}として、現場閉所^{*2}を原則、すべての土曜日と日曜日に行うものをいう。
 - 2 この要領において、週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週毎における現場閉所の達成状況が、1週間(月曜日から日曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。(別紙2)
 - 3 この要領において、月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。

なお、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%)に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている場合に、4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)を達成しているものとみなす。(別紙3の①)

- 4 この要領において、通期の週休2日とは、対象期間全体での現場閉所の達成状況が4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。
- ※1 対象期間の考え方について、以下の期間は対象期間から除く
 - ·準備期間
 - ・後片付け期間
 - 夏季休暇(3日間)
 - · 年末年始休暇(6日間)
 - ・工場製作のみの期間
 - ・工事事故等による不稼働期間
 - ・天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間

・その他、受注者の責によらず休工を余儀なくされる期間

なお、週単位の週休2日の場合において、対象となる週が1週間(月曜日から日曜日)に満たない週、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った週は対象期間から除く。(別紙2の①、②)

また、月単位の週休2日の場合において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った日、暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。(別紙3の②、③)

※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所され た状態をいう。

(対象工事)

- 第3条 すべての工事の案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象 外とする。
 - ① 工事発注時において、工事の実働日数が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事
 - ア 災害復旧工事等、緊急性の高い工事
 - イ 社会的要請や現場条件の制約等により、現場閉所が困難として 次に掲げる工事
 - (ア)交通規制、施工可能時期(医療施設又は学校等、施設運営する上で現場閉所が困難)等の制約がある工事
 - (イ) 連続施工を必要とする工法を含む工事
 - ③ 市長が対象工事に適さないと判断する工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、「土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))」である旨を明示する。

(経費の計上)

- 第5条 当初設計における週休2日に関する経費は、月単位の週休2日を前提 とした補正係数(別紙1の②、④、⑤)を乗じたそれぞれの経費(労務費、 共通仮設費率、現場管理費率、市場単価、標準単価)を計上するものとす る。
 - 2 工事の精算にあたり、调単位の调休2日を達成できた場合、補正係数(別

紙1の①、④、⑤)に増額変更するものとする。

また、週単位の週休2日及び月単位の週休2日を達成できなかったものについては、補正係数を除き減額変更するものとする。

3 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含めるものとする。

なお、週休2日の算定においては実際の現場閉所日の週または月で現場 閉所日数を算定すること。

4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

附則 この要領は、令和7年5月20日から施行する。 附則 この要領は、令和7年11月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

① 週単位の週休2日

・労務費 : 1. 02・共通仮設費率 : 1. 05・現場管理費率 : 1. 06

② 月単位の週休2日

· 労務費: 1. 0 2· 共通仮設費率: 1. 0 4· 現場管理費率: 1. 0 5

③ 通期の週休2日 補正無し

④ 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正	係数
名称	区分	月単位	週単位
鉄筋工(太径鉄筋を含む)		1. 02	1. 02
鉄筋工(ガス圧接)		1. 01	1. 01
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1. 00	1. 00
	撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1. 02	1. 02
例 读 侧 故 直 工 (撤去	1. 02	1. 02
防護柵設置工(落石防護柵)		1. 01	1. 01
防護柵設置工(落石防止網)		1. 01	1. 01
 防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1. 00	1. 00
例。透照成直上(ガードバイン)	撤去	1. 02	1. 02
道路標識設置工	設置	1. 00	1. 00
但的1示概 以 巨工	撤去・移設	1. 01	1. 01
道路付属物設置工	設置	1. 01	1. 01
追附的 禹初故臣工	撤去	1. 02	1. 02
法面工		1. 01	1. 01
吹付枠工		1. 01	1. 01
軟弱地盤処理工		1. 01	1. 01
橋梁用伸縮継手装置設置工		1. 01	1. 01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1. 02	1. 02
橋面防水工		1. 01	1. 01

⑤ 土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正 係数

		補正	係数
名称	区分	月単位	週単位
区画線工		1. 02	1. 02
排水構造物工		1. 02	1. 02
コンクリートブロック積工		1. 02	1. 02
構造物とりこわし工	機械	1. 01	1. 01
博足物でサビルし工	人力	1. 02	1. 02
橋梁塗装工		1. 01	1. 01

【別紙2 週単位の週休2日の考え方】

週単位の週休2日とは、対象期間内のすべての週における現場閉所の達成状況が、1週間(月曜日から日曜日まで)のうち2日間以上であることをいう。

週単位の週休2日の達成状況については、以下のとおり判断し、対象期間全 ての週毎の達成状況を確認したうえ、その達成状況に応じて、経費補正を評価 する。

① 準備期間や片付期間が含まれる場合

月	火	水	木	金	±	B
	備期間 ・象外)	対象期間			現場閉所	現場閉所

●週単位の達成状況 : この週は対象外(対象期間が1週間未満)

月	火	水	木	金	±	Ш
			対象期間		片付期間 (対象外)	

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(対象期間が1週間未満)
- ② 同一週内での指示による土日作業(緊急対応等)を行った場合

月	火	水	木	金	±	B
指示日					緊急対応	現場閉所

- ●週単位の達成状況 :この週は対象外(緊急対応のため)^{※1}
- ※1 週単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った週は、対象期間から除く。

③ 1週間以上前に判明した土日作業(現場見学等)を前後2週間以内の平日に振替えた場合

月	火	水	木		金	±	日	
	指示日		現場閉	所			現場閉所	第A週
							1812年1817年	笠 D 油
					振替え		現場閉所	第B週

第A週

●週単位の達成状況 :達成(1週間で2日の現場閉所)

第B週

●週単位の達成状況 : 未達成(1週間で1日の現場閉所)*2

※2 発注者の指示による土日作業は原則、現場閉所日を前後2週間以内の平日に振替えるものとするが、週をまたぐ振替えについては、振替えた先の週における現場閉所日として扱うものとする。

【別紙3 月単位の週休2日の考え方】

月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成 状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上) であることをいう。

なお、下記①の場合も4週8休以上達成とみなす。

① 暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。(A月、B月)

		תח (パター	/ N)		
月	火	水	木	金	±	B
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

B月 (パターンB) 月 水 金 + B 火 木 1 2 3 4 5 7 8 10 11 12 13 14 15 16 18 19 21 22 23 24 25 26 27 28

29

30

・A月すべてが対象期間の場合

4週8休に満たないが、A月は8日以上の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

· B月22日から対象期間が始まる場合

4週8休に満たないが、B月は2日以上 の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

② 暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。 (C月)

		C月(パター	ンC)		
月	火	水	木	金	±	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	-				

- · C月4日で対象期間が終わる場合
- · C月29日から対象期間が始まる場合



暦上の土日を含まないため、対象期間か ら除く ③ 同一週での指示による土日作業は対象期間から除く。

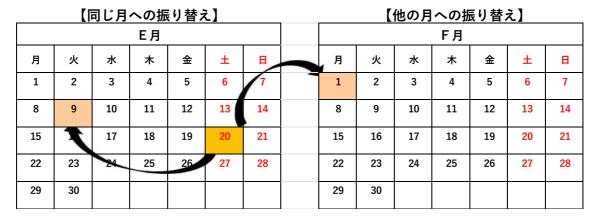
	D月(パターンD)													
月	火	水	木	金	±	Н								
1	2	3	4	5	6	7								
8	9	10	11	12	13	14								
15	16 指示日	17	18	19	20 緊急対応	21								
22	23	24	25	26	27	28								
29	30													

· D月 16 日の指示でD月 20 日に 緊急対応を行った場合



緊急対応の作業日を除いた土日 日数の現場閉所を行っていれば、 4週8休以上の達成とみなす

- ※ 月単位において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示に限る)を行った 日は、対象期間から除く。
- ④ 土曜日・日曜日をやむを得ず振替える場合(E月、F月)

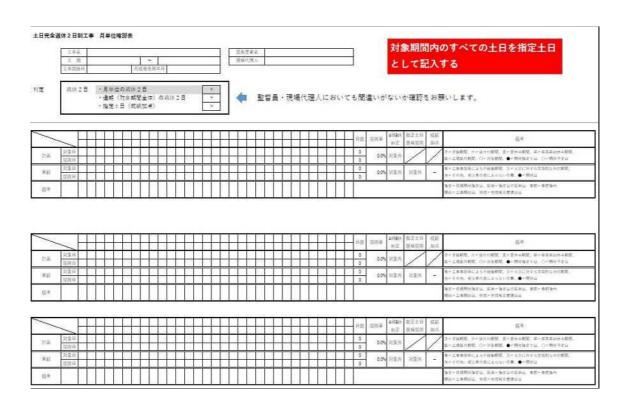


・E月の現場閉所日としてみなす

・F月の現場閉所日としてみなす (E月の現場閉所日としない)

※E月の4週8休以上の率算出時に注意

2. 【参考】土日完全週休2日制工事確認表



	対象	0週	達成	0週	22						
			90	600	25 09			土日の振	昔日を入力	判定(経費補正)	判定(工事成績加点
	月	火	水	木	全	±	日	土曜	日曜	0	×
1週											991
										対象外	×
	8		(n 8)	00	8 8		6	10). <u>10</u> 1		it.	
2週										×	41
										対象外	×
	56							-			
63週										<u></u>	
										对象外	×
				,				7			
94週								1			
]		対象外	×
							,	-			
55 通								_			
					S - 2					対象外	×
			-		ja 39		1				
66週											
					l, ,					対象外	×
S002-5-000								7			
97週											
										对象外	×

第5編 森林整備保全工事編

1. 土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな課題となっている。担い手確保には、建設現場における労働環境の改善が必須であるため、週休2日(4週8休以上)の普及・定着に向けて土日完全週休2日制工事を試行する。

(定義)

- 第2条 土日完全週休2日制工事(以下「週休2日」という。)とは、工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間^{*1}として、現場閉所^{*2}を原則、すべての土曜日と日曜日に行うものをいう。
 - 2 この要領において、月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。

なお、暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%)に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている場合に、4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上)を達成しているものとみなす。(別紙2の①)

- 3 この要領において、通期の週休2日とは、対象期間全体での現場閉所の達成状況が4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)であることをいう。
- ※1 対象期間の考え方について、以下の期間は対象期間から除く
 - ・準備期間
 - ・後片付け期間
 - · 夏季休暇(3日間)
 - · 年末年始休暇(6日間)
 - ・工場製作のみの期間
 - ・工事事故等による不稼働期間
 - ・天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間
 - ・その他、受注者の責によらず休工を余儀なくされる期間 なお、月単位の週休2日の場合において発注者の指示による土日作業 (同一週内での指示に限る)を行った日、暦上の土曜日・日曜日が対象期

間に含まれない月は対象期間から除く。(別紙2の②、③)

※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所され た状態をいう。

(対象工事)

- 第3条 すべての工事の案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象 外とする。
 - ① 工事発注時において、工事の実働日数が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事
 - ア 災害復旧工事等、緊急性の高い工事
 - イ 社会的要請や現場条件の制約等により、現場閉所が困難として 次に掲げる工事
 - (ア)交通規制、施工可能時期(医療施設又は学校等、施設運営する上で現場閉所が困難)等の制約がある工事
 - (イ) 連続施工を必要とする工法を含む工事
 - ③ 市長が対象工事に適さないと判断する工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、「土日完全週休2日制工事(発注者指定型(月単位))」である旨を明示する。

(経費の計上)

- 第5条 当初設計における週休2日に関する経費は、月単位の週休2日の現場 閉所を前提とした補正係数(別紙1の①、③、④)を乗じたそれぞれの 経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、 市場単価、標準単価)を計上するものとする。
 - 2 工事の精算にあたり、月単位の週休2日は達成できなかったものの、通期の 週休2日を達成した場合は、補正係数(別紙1の②、③、④)に減額変更する ものとする。

また、月単位の週休2日及び通期の週休2日を達成できなかったものについては、補正分を減額変更するものとする。

3 算定する現場閉所日数は、土曜日・日曜日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所

した日数に含めるものとする。

なお、週休2日の算定においては実際の現場閉所日の月で現場閉所日 数を算定すること。

4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

附則 この要領は、令和7年5月20日から施行する。 附則 この要領は、令和7年11月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

① 月単位の週休2日(4週8休以上)

・労務費 : 1. 04・機械経費(賃料): 1. 02・共通仮設費率 : 1. 03・現場管理費率 : 1. 05

② 通期の週休2日(4週8休以上)

・労務費 : 1. 02・機械経費(賃料): 1. 02・共通仮設費率 : 1. 02・現場管理費率 : 1. 03

③ 市場単価方式による週休 2 日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数				
石 柳		月単位	通期			
鉄筋工(太径鉄筋を含む)		1. 04	1. 02			
鉄筋工(ガス圧接)		1. 03	1. 02			
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1. 01	1. 00			
奶護柵放直工 (カードレール)	撤去	1. 04	1. 02			
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1. 04	1. 02			
	撤去	1. 04	1. 02			
防護柵設置工(落石防護柵)		1. 01	1. 01			
防護柵設置工(落石防止網)		1. 02	1. 01			
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1. 01	1. 00			
奶透価改直工 (カードハイブ)	撤去	1. 04	1. 02			
道路標識設置工	設置	1. 01	1. 00			
但的保護	撤去・移設	1. 03	1. 02			
道路付属物設置工	設置	1. 01	1. 01			
追岭的周彻 故直上	撤去	1. 04	1. 02			
法面工		1. 02	1. 01			
吹付枠工		1. 03	1. 01			
軟弱地盤処理工		1. 02	1. 01			
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1. 03	1. 02			
橋梁用伸縮接手装置設置工		1. 02	1. 01			
橋梁用埋設型伸縮接手装置設置工		1. 04	1. 02			

④ 土木工事標準単価による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	補正係数				
44	区別	月単位	通期			
区画線工		1. 04	1. 02			
構造物とりこわし工	機械	1. 03	1. 02			
特足物にサビルし工	人力	1. 04	1. 02			
コンクリートブロック積工		1. 04	1. 02			
排水構造物工		1. 04	1. 02			
橋梁塗装工		1. 03	1. 01			
塗膜除去工		1. 04	1. 02			
道路反射鏡設置工	設置	1. 01	1. 00			
	撤去	1. 04	1. 02			
侵食防止用植生マット工(養生マット工)		1. 04	1. 02			

【別紙2 月単位の週休2日の考え方】

月単位の週休2日とは、対象期間内のすべての月毎における現場閉所の達成 状況が4週8休以上(各月の現場閉所日数/各月の対象期間日数=28.5%以上) であることをいう。

なお、下記①の場合も4週8休以上達成とみなす。

① 暦上の土曜日・日曜日の現場閉所でも4週8休に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に、4週8休以上を達成しているものとみなす。(A月、B月)

		****	パター				
月	火	水	木	金	±	B	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25 26		27	28	
29	30						

・A月すべてが対象期間の場合

4週8休に満たないが、A月は8日以上の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

・B月22日から対象期間が始まる場合

4週8休に満たないが、B月は2日以上 の現場閉所で4週8休以上達成とみなす

② 暦上の土曜日・日曜日が対象期間に含まれない月は対象期間から除く。 (C月)

		C月(パター	ンC)			
月	火	水	木	金	±	B	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

- · C月4日で対象期間が終わる場合
- · C月29日から対象期間が始まる場合



暦上の土日を含まないため、対象期間から除く

③ 同一週での指示による土日作業は対象期間から除く。

	D月(パターンD)												
月	火	水	木	金	±	П							
1	2	3	4	5	6	7							
8	9	10	11	12	13	14							
15	16 指示日	17	18	19	20 緊急対応	21							
22	23	24	25	26	27	28							
29	30												

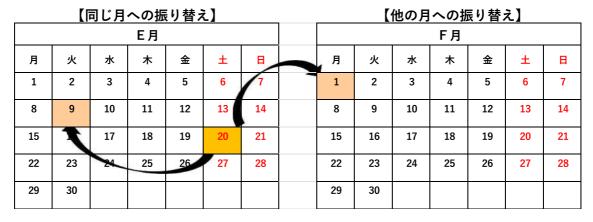
・D月 16 日の指示でD月 20 日に 緊急対応を行った場合



緊急対応の作業日を除いた土日 日数の現場閉所を行っていれば、 4週8休以上の達成とみなす

土日日数8日 ⇒ 土日日数7日 緊急対応除

- ※ 月単位及び工事成績評定において、発注者の指示による土日作業(同一週内での指示 に限る)を行った日は、対象期間から除く。
- ④ 土曜日・日曜日をやむを得ず振替える場合(E月、F月)



・E月の現場閉所日としてみなす

・F月の現場閉所日としてみなす (E月の現場閉所日としない)

※E月の4週8休以上の率算出時に注意

3.【参考】土日完全週休2日制工事確認表

Ĭ	海	洲	2.0 201		令和7年9月	i i	対点	i	# M		金和7年8月	源	36	10t		令和7年7月	世	土日完全週休2日制工事
計画時の確認 対象予定日 服料予定日		対象日	記録の対象の	/_			部がい	1 選集 11	対策田	<u>/_</u>			部 27 第 田	三	V_		誠 宋 い	四株2日割 工事品 工事品
国時の確認 対象予度日表 関門予定日表 連続予定年表	_	35	0	III →	2.0	***	• (-	0	H 10			H	H	法 11		m	113 H
** 選 選		75	35	₩ ω		iii iii	• (0	ш ю					×			
3 4		#	35	4 K			(_	0	4 (III)			4	福	# 4 H 01		月単位の選休2日 通期(対象期間全体) 指定土日(成例加点)	企業7年7月4日 (金額7年7月4日
47 14 29.8%		24	35	He on			(_	0	法 の			-\$16 -\$16	16	m on		世紀の世代の	200 4 111
		2#	3#	m ~			(-		⅓ ~	1		46	-18	3m ~1		題休2日 養期間全 (成婚加	20 20
無償の確認 対象日表 照附日表 運転車		25	25	ω π. ω <i>≾</i>	30	iiit	• (-	0	H 00		-	-16	46	分 火 田		日金石	河 表
原の確認 対象目表 関系目表 変数手表		24	>;	# 5	34		• (_	0	m 5			-16	-16	# 5		19990	HE III
130 130				* =			(-	0	3m			-96	-14	# 11		の適休2	2
127.9%		Н		± 13 ± 13		_	- (-	0	火 火 水			46	44	H 13		m	169
ar .				$\mathbf{m} \overset{\mathbf{H}}{\simeq}$			9	-	[0]	3 10			-96	-16	国际			847年9月10日
1		H	-	月 月 月 月 月 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	24	iiit	19	-	(B)	# 55 H 55		\vdash	0	0	沙 沙 沙 沙		0 0	
油		Н		* 12		int.	• (-	0	m L			0	0	* 5			
患		П		₩ 55	3%	绑	• (-	0	m 55			0	0	H 55			36 50
(対象期間全体)		Н	\vdash	# 15 # 15		-		-	0	決 25		166 166 166 166	• 0	• 0	H H 20			流角集者名 装 棉化 连人
霊				m 12				-	0	* 13		7.0	0	0	m 12		即为	· m
				m 13 % 13	-	***	• (_	0	# 13 # 13			0	0	☆ は ※ は)Ma	
**		Н		× 12	-	iiit iit	• (_	0	m 12		\vdash	0	0	· · · · · · · · · · · · · ·			
				* 3			(0	0	m 13			0	0	B 3		ain	
の適休 2			\vdash	# 26 # 27	=	-	- (_	0	× 33		56 164 56 164	• 0	00	+ 26 E 27			
⁷ 2				m 😘					0	* B		tot me	0	0	m (3		>	
ш Э				m 3			(_	0	# 13			0	0	> 3		37	
の状況				× 30		遊遊	2		0	H 30		\vdash	0	0	· · · · · · · · · · · · · ·		Z	
		0 0	0 13	m			00 %		28	m	1		4 5	4 5	m 35		Cff	
		0.0%	0.0%	NA W			30.8%	-	35.30	超型新			23.5%	23.5%	2 国 平		現場代理人においても間違いがないか確認をお願	
		37.83	7283	4.88休			0		0	4周8休			0	0	4.880米		かな	姓 5
		2 元章9	7	36 at 66			0			対域を対し			0		* 指定土日		いかる	対象期間記入する
		-							/			1	50.00				64 ES	対象期間内のす記入する
	28 39	対象が	N2 +0	(表現 (表現	38	TF.	0	1 50	42	古 斯 斯		SE 29	() 中	知台	対象		35 \$\$\$\$	9
	数定=现场影别数定的,既帮=数定的办理容和 题法=工手题站印、完成=更成假告崇禄出日	事=工事事故等による不容動構成、四=天門に対する変色的を対応関戦、 他=その他、受達者の苦によらない技工。●=国所日	事の事品研究、片の後の片が研究、更の近かる研究、年の年末年始かる研究、 数の工場が作研究、○の対象研究、●の田的教艺士は、○の田州予定は	論本	据译 = 对李继辞中,河流 = 河流 题清淡翠井田	推定=便编图所指定用。 诺臂=数定日の插臂目	中で上土中のです。そのでの別田市、ドースのもおくの大学である日本の 街のみの街、東洋地の岩石大学のでは大二、東京開刊日	※「工品製作開業、○「公文開業、●「開始製作工程、○「開発予定日 日 - 工品用等等:・・下方数据目前 日 - 日日で入りままます。公子を記	事=华绍撰说,片=後片付别说,夏=夏休 み 期间,年=年末年始休 み 期间,	損者	al al	教定=现确担所教定用、联络=数定用の断管用 职协=工事概括用、完成=完成报告武排出目	非二工事業の等による不容動問題、20~天空に対する資金的な対応期間。 他=その他、受達者の首によるない状工。◆=即列目	事=準備期限、片=後片付期限、夏=夏食み割物、年=年末年20代み割取、 阪=工場設作期限、○=対象期限、●=別所数定士員、○=部所予定員	演者		思いします。	すべての土日を指定土日として